新型コロナウイルスへの
関西学院大学体育会合気道部としての対応案について

保護者・OBOG・関係者各位　　2020 年 3 月 10 日

合気道部監督　大原　隆志
主将　田中　聡一郎
主務　山本　泰地

はじめに

平素より合気道部の活動におきまして格別のご支援賜り、あらためて御礼申し上げます。

さて、3 月 10 日現在、新型コロナウイルス感染者数は国内で 514 例確認されております。日本国内外でも感染者数は増え続けており、兵庫県内では 13 人の感染確認が出ております。政府の対応としても、本日よりさらに 10 日間ほどの大規模イベントの中止、自粛要請、通勤通学の規制を行うといった追加の要請が出ております。

新型コロナウイルス：飛沫感染と接触感染の２種類があります。潜伏期間は最大で１４日間とされます。症状としては発熱や呼吸困難が１週間前後続きます。(厚生労働省より)

関西学院大学は 3 月 4 日付の方針で、以下の 3 つを中止または延期するよう呼び掛けています。

１．互いが手を伸ばすと届くような近い距離での接触が、会話などを通して一定時間以上、多くの人々との間で行われるもの
２．参加者が各地から参集し散開するもの
３．集団での飲食または宿泊を伴うもの
※ 上記には合宿・公演・展示会・送別会等が該当します。

また、部活動等の通常の課外活動については、「体調チェックシート」、「課外活動日報」をスポーツ振興・統括課に提出し、上記の方針を理解・遵守した上で、活動を認められています。

関西学院大学体育会合気道部としての基本方針と現在の対応、今後の対応策を以下内容にて策定いたしましたので、ご報告申し上げます。

基本方針

・所属部員の健康を第一とする。
・大学の基本方針に従い活動は続けるものとする。

・ただし、活動は任意参加の形をとるものとする。

現在の対応

・春合宿、追い出しコンパ等催し物の中止。
・起床後に体温を測り、部内で共有する。部員の体調は健康チェックシートを通して毎日大学へ報告する。
・体調不良の場合は、幹部と相談の上、基本的に自宅待機とし、37.4 度以上の熱がある場合は、いかなる状況の下でも帰宅や自宅待機の対応をとる。
・道場に入るときにアルコール消毒を行う。
・練習中のマスク着用の呼びかけや、練習後、食事前の手洗い・うがいの呼びかけの実施。

今後の対応策

以後、大学より指示がある場合はそれに応じて速やかに対応を講じていくものとする。練習を続ける上では感染防止の対策を行う。

保護者ならびに OBOG の皆様につきましては、大変なご心配をおかけしていることと存じます。当部の方針といたしましては、状況を考慮しながら活動を継続する所存です。今後の対応が変わり次第、随時ご連絡させていただきます。